

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	ゲムシタピン(GEM)を用いた膵癌術後補助化学療法施行例の Tissue microarray を用いた RRM1 の発現と生物学的特性の解析
	研究目的	膵癌は最も予後の悪い癌の一つであり、日本における癌死因の第 5 位を占めている。GEM は切除不能膵癌および切除可能膵癌治療の両者において最も重要なキードラックである。しなしながらその効果には個人差を認める。また、切除可能膵癌の補助療法施行例では S-1 補助療法との薬剤の使い分けが一つの課題になっている。GEM の治療効果予測因子が同定できれば、適切な患者さんに安全かつ効果的な治療が提供できる可能性がある。近年、ribonucleotide reductase subunit M1 (RRM1)の高発現群では、癌の生物学的悪性度が低く、無再発生存期間・生存期間ともに長いことが分かってきた。また RRM1 は、GEM の薬剤耐性化因子であり、RRM1 高発現群では GEM の治療効果が低いとの報告が散見されるがまだ十分な解析がなされていない。本研究では、GEM を用いた膵癌術後補助化学療法施行例において RRM1 の発現と治療効果との関連を検討する。
	研究期間	2014 年 6 月 13 日から 2024 年 6 月 13 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	森永聡一郎
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器外科(肝胆膵)
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし